

Protect まもる  
Foster はぐくむ  
Connect つながる

# 観光における サーキュラーエコノミーの実践

株式会社JTB

2022年11月22日

曾根 進

# 観光におけるサーキュラーエコノミーの視点

- ✓ 近年、持続可能な開発目標「SDGs」に向けた取組が、世界各地で行われており、**観光分野においても、多くの国が持続可能性を観光政策の目標として掲げている。**
- ✓ カーボンニュートラル宣言や脱炭素ロードマップ等、国・自治体政策も大きく変化している中、**観光産業としても“環境配慮及び循環”の視点を持って、社会・地域に向き合いながらヒト・モノ・カネの文脈で持続可能な地域づくりへの貢献と地域の成長を実現させていく。**

## UNWTO 持続可能な観光

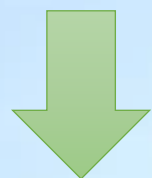
「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の**環境、社会文化、経済**への影響に十分配慮した観光」



## 交流の5つの“チカラ”を通じて循環させていく



3R : Reduce、Reuse、Recycle



観光にとっての「R」は「**Responsible（責任）**」

• **Responsible Business**

• **Responsible Tourism**

• **Responsible Value Chains**

マイナスの影響  
にも目をむける

環境に配慮した観光にも責任を持つという  
「サステナブル・ツーリズム」というキーワードが最近増えている

## JTBグループの価値創造の源泉は、つなぐ・つなげる。



### 旅行者

旅行者と地域（旅先）を  
旅行者の日常と非日常を **つなぐ**

**旅で人生を豊かに**



### 地域

地域と旅行者を  
地域内を **つなぐ**

**人流創造で  
地域を活性化**

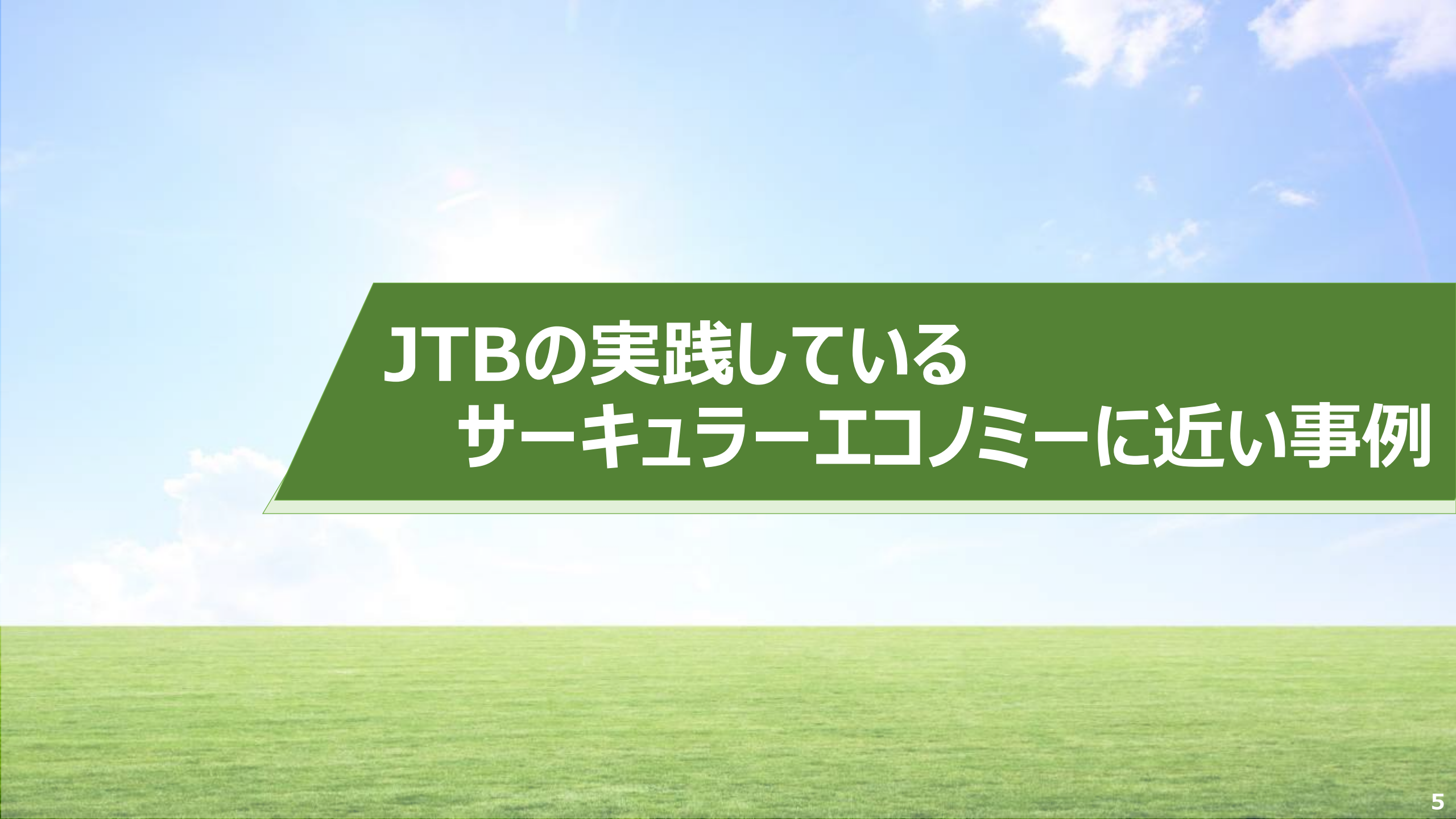


### 企業

企業と顧客を  
従業員を **つなぐ**

**コミュニケーションで  
企業を元気に**

- 製品はステークホルダーとの共創（メーカーではない）
- 旅行者・地域・企業・学校等をつなげ、価値を創造
- それぞれのお客様の、ご満足や課題解決につなげる。



**JTBの実践している  
サーキュラーエコノミーに近い事例**

# 企業との官民連携及び地方の財源確保視点でのサーキュラー

地域が取り組む環境負荷低減に対して企業版ふるさと納税の寄付による支援を行うことで、取り組みの加速化に貢献するとともに、地方と都会を循環させる。

地方自治体

地域への寄附による支援

企業

サーキュラーエコノミー

脱炭素社会

企業版  
ふるさと納税

企業成長



地域のサーキュラー社会実現

企業が実現したいこと（メリット）

- ・脱炭素まちづくり
- ・CO2削減へのアクション
- ・産業創出・雇用促進
- ・サーキュラーエコノミー

企業の展開（リソース）に対する信頼・信用

- ・株主・投資家への責務
- ・経営安定化
- ・優秀な人材獲得・抱え込み
- ・ステークホルダーの満足度アップ



実現



地域への貢献



アップ!



アップ!

従業員・顧客・株主・取引先

“企業版ふるさと納税”による財源循環によりサーキュラーエコノミーに寄与していく

## <北海道三笠市／ 未利用エネルギー研究事業>

未利用資源の技術開発  
カーボンリサイクルによる  
世界初のブルー水素製造

脱炭素に向けたまちの挑戦

みかさし  
北海道三笠市

現在の寄付額  
113,591,779 円

目標金額：1,500,000,000円

寄付件数 8 件

SDGs目標



## <佐賀県佐賀市／脱炭素・資源循環 による持続可能なまちづくりプロジェクト>

世界初！ さがし  
佐賀県佐賀市

ごみ焼却からCO2の資源化に成功！  
カーボンリサイクルで  
産業の活性化を世界標準に

現在の寄付額  
550,000 円

目標金額：100,000,000円

寄付件数 5 件

SDGs目標



全国横断で唯一の『企業版ふるさと納税ポータルサイト“ふるコネ”』による、  
サーキュラーエコノミーのプロジェクトを、システム・財政面から支援

# SDGsを旅で応援する『脱炭素へ貢献、プラスチックごみ削減宿泊プラン』を発売！

株式会社JTBは、株式会社フィルズと連携し、長野県志賀高原エリアにおいて、宿泊施設の『プラスチックごみ削減』を目的とした宿泊プランの販売を10月13日（木）より開始

・プラン名：マイボトルから始める脱プラスチック！

ボトルへの1ドリンク付き&ホテルアメニティ無し

・設定期間：2022年10月14日（金）～2022年11月6日（日）

・設定施設：長野県 志賀高原エリア 3施設

志賀パークホテル ・硯川ホテル ・木戸池温泉ホテル

・プラン内容：プラスチックごみ、ペットボトルごみを減らす観点から宿泊施設

でアメニティ無し、および持参したマイボトル（タンブラー）に

宿泊施設でドリンクリフィル（補給）サービス付き

・発売日：2022年10月13日（木）

・予約ページ：[https://www.jtb.co.jp/kokunai\\_jr/t/pla\\_reduce/](https://www.jtb.co.jp/kokunai_jr/t/pla_reduce/)

・企画・造成：株式会社JTBガイアレック



- 都会の方々が地方へ旅に行く際にもボトルレス➤東京と地方をボトルレスでつなぐ
- この新しい機会を創出することが、循環に繋がる
- 旅のライフスタイル×都会の日常生活（マイボトルの生活）を循環させる。



長野県への修学旅行の実施案件  
他エリアとの差別化を希望

団体需要の減少傾向  
県内近隣観光地と差別化の希望



## 地域のサステナブルな取組を SDGsコンテンツ化

### 目的地として選ばれるコンテンツ開発

志賀高原ユネスコエコパーク  
環境学習プログラム

温泉熱を活用しよ

eco飯盒炊飯



志賀高原オリジナルバッジを参加者に配布

地域での年間通じた共通表示

# 旅のコンテンツを通じて、サーキュラーエコノミー実践に寄与



お客様同士のつながりでイノベーションを創出し、  
より大きな社会課題の解決に貢献する

# 未来へつなげる



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています